

## 平成25年度事業計画

(はじめに)

当協会は、昨年4月に公益法人に移行し2年目を迎える。24年度はロンドンパラリンピックが開催され、選手の活躍が大きく報じられ多くの感動を与えるなど、障害者スポーツへの関心が大きく高まった1年であった。

また、「兵庫県スポーツ推進計画」が策定され、重点目標の一つとして「障害のある人のスポーツ参加者の増加」が掲げられた。本協会では、目標実現に向け関係機関とも連携を図りながら、障害のある人が身近な地域で、それぞれの目的に応じてスポーツを楽しむことができる環境の充実に取り組み、障害のある人のスポーツ参加者の増加を目指す。

(事業)

### 1 障害者スポーツ大会の開催支援

#### (1) 第7回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会の開催

第13回全国障害者スポーツ大会「スポーツ祭東京2013」の選考会に位置づけ実施する。

今大会から、精神障害者の参加等、競技人口が増加傾向にあるフライングディスク競技を、陸上競技と別日程で開催し運営体制の強化を図るほか、オープン参加種目の拡充を図るなど、スポーツのすばらしさと楽しさが実感できる大会として開催する。

開催期日	競技名	対象	開催場所
4月29日 (祝・月)	車いす使用者陸上 フライングディスク	車いす使用者	ユニバー記念競技場 (補助競技場)
5月17日 (金)	卓球	精神障害者	県立障害者スポーツ交流館
5月18日 (土)	バスケットボール バレーボール	知的障害者	県立障害者スポーツ交流館
5月19日 (日)	卓球	身体・知的障害者	県立障害者スポーツ交流館
	水泳	"	
5月25日 (土)	フライングディスク	身体・知的・精神障害者	三木山総合公園
	陸上競技	身体・知的障害者	
	ソフトボール	知的障害者	
	フットベースボール サッカー		
5月26日 (日)	ボウリング	"	フタバボウル(明石市)
6月7日 (金)	サウンドテーブルテニス	視覚障害者	県立障害者スポーツ交流館
11月22日 (金)	バレーボール	精神障害者	グリーンアリーナ神戸

## (2) 第 25 回全国車いすマラソン大会の開催

全国から参加者を募集し、篠山城跡マラソンコース（日本陸連公認コース）を利用して車いすマラソン大会（フルマラソン及びハーフマラソン）を開催する。

- ・開催日 平成 25 年 9 月 29 日（日）
- ・開催場所 篠山城跡マラソンコース（篠山市）
- ・参加者 選手約 120 名、競技役員・ボランティア約 1,000 名

## (3) 競技別の県大会開催支援事業

団体が主催する競技大会及び練習会開催経費の一部を助成するとともに、大会情報発信の充実により競技人口の拡大や競技団体の競技力向上を図る。

- ・助成団体 28 団体（予定）
- ・助成額 開催経費の 1/2 以内（下限 40 千円、上限 80 千円）

## 2 全国大会等への選手派遣支援

### (1) 第 13 回全国障害者スポーツ大会近畿地区予選会への選手派遣

第 13 回全国障害者スポーツ大会に派遣する近畿ブロック代表チーム（団体競技）を決定する下記の近畿地区予選会に兵庫県チームを派遣する。

競技種目	開催日	会場
車椅子バスケットボール（身体）	平成 25 年 5 月 26 日（日）	大阪市
バスケットボール（知的男子・女子）	平成 25 年 6 月 9 日（日）	奈良県
バレーボール（聴覚男子・女子）	平成 25 年 5 月 26 日（日）	滋賀県
バレーボール（知的男子・女子）	平成 25 年 6 月 9 日（日）	神戸市
バレーボール（精神）	平成 25 年 6 月 1 日（土）	堺市
フットベースボール（知的）	平成 25 年 6 月 2 日（日）	神戸市
グランドソフトボール（視覚）	平成 25 年 5 月 26 日（日）	兵庫県
ソフトボール（知的）	平成 25 年 6 月 9 日（日）	兵庫県
サッカー（知的）	平成 25 年 6 月 2 日（日）	大阪府

### (2) 第 13 回全国障害者スポーツ大会「スポーツ祭東京 2013」への選手派遣

東京都で開催される第 13 回全国障害者スポーツ大会「スポーツ祭東京 2013」に兵庫県選手団を派遣する。

- ・大会期間 平成 25 年 10 月 12 日（土）～ 14 日（月）
- ・派遣期間 平成 25 年 10 月 11 日（金）～ 15 日（火）
- ・開催場所 味の素スタジアムほか
- ・派遣人数 個人競技選手 56 名及び役員 33 名（予定）  
団体競技（近畿地区予選会の結果による）

### (3) 第 25 回全国車いす駅伝競走大会への選手派遣

京都市で開催される第 25 回全国車いす駅伝競走大会に兵庫県選手団を派遣する。

- ・開催日 平成 26 年 2 月 予定
- ・開催場所 西京極運動公園マラソンコース（京都市）

#### (4) 競技別の全国大会派遣経費支援事業

競技団体の競技力向上等を図るために、団体が派遣する全国大会の派遣費用の一部を助成する。

- ・助成団体 22 団体（予定）
- ・助成額 派遣経費の 1/2 以内（下限 30 千円、上限 60 千円）

### 3 障害者スポーツ振興事業

#### (1) 障害者スポーツ普及・育成事業

県内のプロスポーツや企業スポーツチームやパラリンピック出場アスリート、一般競技団体指導者等の参画を得て、障害者スポーツの普及と選手育成を図るために実施する練習会、教室等に対し経費の一部を助成する。

- ・助成団体 6 団体（予定）
- ・助成額 上限 200 千円（対象経費：会場使用料、派遣経費等）

#### (2) 障害者スポーツ奨励事業

障害者スポーツの振興に有意義な研究会の開催や指導者・ボランティアの資質向上のための研修会、競技力向上のための審判講習会等の事業に対して、経費の一部を助成する。

- ・助成団体 全県レベルの障害者スポーツ振興を目的とする団体
- ・助成額 開催経費の 1/2 以内（上限 30 千円）

### 4 障害者スポーツのすそ野拡大・育成・強化

#### (1) 兵庫県障害者スポーツフェスティバル開催支援事業

障害の有無や程度・種類に関係なく、誰もが楽しむことができる大会やイベント等の開催を支援することにより、障害者スポーツのすそ野を図る。

- ・支援対象 10 大会（予定）
- ・助成額 開催経費の 1/2 以内（上限 30 千円）

#### (2) 全国障害者スポーツ大会に向けた選手育成強化

全国障害者スポーツ大会の全競技種目について、派遣候補選手を中心とした練習会や、交流試合等の実施により、選手及びチームの技術力向上を図る。

第 13 回全国障害者スポーツ大会派遣選手事前練習会の開催

第 13 回全国障害者スポーツ大会派遣選手を対象に、競技力の向上を図るため、各競技に精通した指導者を招き技術指導を行う。

- ・内 容 陸上・フライングディスク、水泳・卓球・サウンドテーブルテニス
- ・実施時期 平成 25 年 8 月 3 日(土)、9 月 1 日(日)、7 日(土)

団体競技種目での取組

関係競技団体・施設等を中心に、チームの編成及び選手の育成強化を依頼するとともに、その取組を支援する。

ア チーム編成への協力依頼

身体障害者の団体競技については、近畿地区予選派遣チームの編成を依頼している団体に協力を依頼することとし、知的障害者の団体競技については、「第 7 回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会」での成績を参考に、依頼先を決定する。

競 技 名	依 頼 先 ( 予 定 )
車椅子バスケットボール	兵庫県車椅子バスケットボール連盟
グランドソフトボール	社会福祉法人兵庫県視覚障害者福祉協会
聴覚障害者バレーボール(男子・女子)	公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会
サッカー	兵庫県特別支援学校(知的)サッカー連盟
バスケットボール(男子・女子)	一般社団法人兵庫県知的障害者施設協会
バレーボール(男子・女子)	兵庫県立高等特別支援学校
ソフトボール	兵庫県立高等特別支援学校

#### イ 練習会の開催支援

各団体で実施する練習会及び合宿の会場使用料及びコーチ謝金を助成する。

- ・対象経費 会場使用料、コーチ謝金
- ・助成額 上限 70 千円

#### ウ 交流試合開催・参加への助成

各団体で開催または参加する他府県との交流試合等について、開催の場合には会場使用料、審判謝金を、参加の場合については旅費を、助成する。

- ・対象経費 開催時：会場使用料、審判謝金、参加時：旅費
- ・助成額 上限 60 千円

#### 個人競技種目での取組

「第7回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会」での成績を参考に選考を行い、関係団体の協力の下、全国大会個人競技種目（陸上、水泳、卓球、フライングディスク、ボーリング、アーチェリー）について練習会を開催し、派遣候補選手の発掘及び育成強化を進める。

- ・対象経費 会場使用料、コーチ謝金、審判謝金
- ・助成額 上限 70 千円

#### (3) 競技団体の設立支援事業

競技団体が無い競技スポーツについては、全県的な競技人口の拡大を図るため、競技団体設立に要する費用の一部を助成する。

- ・助成団体 3 団体（予定）
- ・助成額 設立経費の 1/2 以内（上限 50 千円）

#### (4) 障害者スポーツ指導者養成講習会開催事業

障害者スポーツの振興に関わる指導者の養成を行い、地域に配置することで地域の障害者スポーツの振興を図る。

特に、障害者スポーツのすそ野拡大や競技力向上のための人材確保に向け、市町社会福祉協議会等の担当職員やスポーツ推進委員、SC21 ひょうご関係者、一般競技団体のスポーツ指導者を対象に、受講促進を図る。

- ・研修期間 平成 26 年 1 月（3 日間）
- ・研修場所 県立障害者スポーツ交流館ほか
- ・募集人数 100 名
- ・受講料 2,000 円（所属団体の推薦がある場合は免除）

## 5 障害者スポーツ振興のための普及・啓発

- (1) 兵庫県障害者スポーツ功労賞・優秀選手賞の贈呈  
障害者スポーツの振興に功労のあった者又は団体、その他広く障害者の模範となった者又は団体を表彰してその功績を顕彰する。
- (2) 国際大会派遣選手への激励金贈呈  
障害者スポーツの振興と県民に対する理解促進を図るため、国際大会に出場する選手に対し表敬訪問及び激励金の贈呈を実施する。  
  
第22回夏季デフリンピック競技大会ソフィア2013（ブルガリア）  
開催日 平成25年7月26日（金）～8月4日（日）  
対象者数 12名（予定）  
  
ソチ2014パラリンピック冬季競技大会  
開催日 平成26年3月7日（水）～3月16日（水）  
対象者数 1名（予定）
- (3) 障害者スポーツボランティアバンクの運営  
県内の大学・短期大学・専門学校や企業等に、各種大会のスタッフとして活動する障害者スポーツボランティアとして参加を積極的に呼びかけ、障害者理解の促進に取り組む。
- (4) ホームページ上での情報提供  
当協会の実施する事業に加え、県内各地の障害者スポーツ関連イベント等について広く情報を提供するため、協会ホームページを運用する。
- (5) 機関紙発行  
当協会が実施する事業について広く情報提供を行い、県民の障害者スポーツへの関心を高めるために、当協会が実施する大会等の情報を中心に障害者スポーツ関連の話題を掲載した機関紙を発行し、各都道府県、県内各市町、関係団体、障害者スポーツ指導員等に配布する。
- (6) 全国障害者スポーツ協議会、兵庫県障害者スポーツ連絡協議会への職員派遣  
全国の障害者スポーツ協会の連絡会である全国障害者スポーツ協議会や兵庫県下の障害者スポーツ施設の連絡会である兵庫県障害者スポーツ連絡協議会に職員を派遣し、障害者スポーツの動向、国際大会の大会情報、他団体の取組等について情報収集を行う。
- (7) 今後の障害者スポーツ推進拠点のあり方検討  
県内の障害者スポーツ推進拠点施設の現状と今後のあり方や施設整備について検討を行うため、体育施設関係者・障害者団体・競技団体等のメンバーで構成する「障害者スポーツ推進拠点検討委員会」を年3回程度開催する。
- (8) 「障害者スポーツネットひょうご」との連携  
県内の障害者スポーツ関係団体を構成員とするネットワーク組織である「障害者スポーツネットひょうご」に参画し、情報の共有、協働事業の展開等を図る。  
<事業例> ・「ひょうごの障害者スポーツサイト」ホームページによる情報発信  
・「人材バンク」の運営  
・ユニバーサルスポーツイベントとの連携

## 6 財政基盤強化のための取組

公益財団法人移行を契機に、賛助会員の積極的な募集などにより、県内の障害者スポーツの一層の振興を図るため、協会事業の展開を支えるための財政基盤の強化に取り組んでいく。

(1) 賛助会員の募集

関係団体、協賛実績のある法人、企業、社会奉仕団体等に参加を呼びかけるとともに、県内下の障害者スポーツ指導員に参加を呼びかけていく。

(2) 協賛企業の開拓

全国車いすマラソン大会の協賛企業の新規開拓を進めるとともに、兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会でのプログラムへの広告掲載を積極的に行うこととし、広告料収入の拡大を目指す。

(3) 障害者スポーツ支援自動販売機の設置

飲料販売企業の協力を得て、売上金の一部が当協会に寄附される障害者スポーツ支援自動販売機の設置を進める。寄附金は障害者のスポーツを通じた社会参加促進のための事業費等として活用する。